

事務事業評価シート

(H.29)No.	2157	(H.28)No.	2157
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害児支援体制整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	172012
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	障害児支援体制整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達支援のより専門的な事業について、言語聴覚士、作業療法士等の専門職員を配置している福祉事業所に委託し、発達支援機能の充実と運営面での経費削減を図ります。
事業内容
発達障害児等及び家族への支援機能の充実と家族同士の交流や憩いの場の提供、保育士等支援者への技術的支援など、発達支援機能に必要な専門的な支援を行うため、言語聴覚士、作業療法士等専門職員を有する福祉事業所に事業委託を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	【障害児地域支援事業委託】 発達障害児等及び家族への支援機能充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供 ・市内学童保育、保育所(園)等への技術的支援(毎月) ・遊びの研究会(7回) ・家族交流憩いの場(11回) ・地域診療相談(3回)	【障害児地域支援事業委託】 発達障害児等及び家族への支援機能充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供

H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
【障害児地域支援事業委託】 発達障害児等及び家族への支援機能充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	【障害児地域支援事業委託】 発達障害児等及び家族への支援機能充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	【障害児地域支援事業委託】 発達障害児等及び家族への支援機能充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		11,000千円		11,000千円	11,000千円	11,000千円	11,000千円
内訳(千円)	国・県支出金		4,848	4,033	4,033	4,033	4,033
	地方債						
	その他()						
一般財源	0	6,152	0	6,967	6,967	6,967	6,967
人工数	職員		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
②概算人件費	0千円	600千円	0千円	600千円	600千円	600千円	0千円
①+②総事業費	0千円	11,600千円	0千円	11,600千円	11,600千円	11,600千円	11,000千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
子ども発達支援に係る事業の充実を社会福祉法人名張育成会が運営する児童発達支援センターとの連携を密接に図りながら実施する事業として取り組みました。当該事業を含めた施策の推進が子育て・子ども支援と障害者福祉に係る市民意識調査の指標向上に寄与します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
社会福祉法人が運営する施設や人材との連携・活用を図り、発達障害児等及びその家族への支援を行っていきます。発達支援の推進に当たり、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。	名張市障害者福祉計画 ばりっ子すくすく計画